

## 竹田陽一の経営随筆集

2022年11月15日 第38号



### 学校における、いじめの解決策 その1

学校でのイジメ問題は深刻です。小学生が不登校になったり、自殺した子供の事情を新聞やテレビで知ると、心が痛みます。

小学生や中学生の自殺者が出ると、その子が在籍していた学校の校長や教育委員会の関係者は、まず「イジメはなかった」と発表します。

そのあと自殺した子供の両親の必死の訴えで、アンケートなどによる実態調査が実行されます。

このときタチが悪い教育委員会の中には、調査結果を焼き捨てて「証拠を隠す」ところもあります。

調査の結果、イジメがあった事実が明らかになり、これ以上隠しきれないとなると、5～6人の関係者がずらりと並び、頭を下げる光景はこれ迄何度も見ました。

「皆であやまれば悪くない」と言うことでしょう。

子供に対して、いかに良い教育を実行して良い人になってもらったり、世の中に役立つ人になってもらうことを目的にし、この仕事によって給料とボーナスを受け取り、はては退職金迄受け取っているのにその役目を果たしているとはどうてい思えない行為が、何度となく報道されてきました。

2011年に滋賀県で起きた、イジメ事件もそうでした。

滋賀県で、イジメによる自殺者が出たあと大きな社会問題になったことで、テレビで「イジメを防ぐ」特集番組があったので、関心を持ってテレビを見ました。

テレビには「教育評論家」と呼ばれている人が、3人並んでいました。ところがどの人も、イジメが起きていて、その被害を受けている子供の親は、どのようにしてこれを早く発見するか「その方法」と、「そのごの対策」についてばかり説明していて、根本的に「イジメを防ぐ方法」について、きちんと説明する人は1人もいませんでした。これには驚きました。

学校におけるイジメは、学校という「教育をする場所」、または「教育の場面」で起きているのですから、根本的にイジメを少なくするには、まず授業のテーマの中に、イジメがなくなる科目を入れておくべきです。

具体的には「人格能力」を高めることを目的に、他人に対する「思いやり能力」や「人間愛の能力」を高めるための「科目」になります。

ところが実際を見ると、人格能力を高めるのに直接関係がある科目はほとんどなく、ゼロ同然になっているのが実情です。

その証拠に、あなたの学生時代の科目を思い出して下さい。国語、英語、社会、歴史、数学など、多くの科目を学んだはずですが、人間的能力を高めるのに「直接関係する科目」は、1つもなかったはずで。以下、次号につづく。

*Lanchester*

ランチェスター経営(株)



〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>